

氏名	平野裕子	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	がん看護 看取り 死生観				
学位	修士（人間科学）				
学歴	東邦大学医療短期大学看護学科、東邦大学医療短期大学専攻科地域看護学専攻、東洋英和女学院大学大学院人間科学研究科人間科学専攻（死生学）				
経歴	2003年7月埼玉県立大学短期大学部助手、2006年埼玉県立大学助教、2012年同大学講師、2018年同大准教授				
所属学会（役職）	日本がん看護学会、日本看護研究学会、日本臨床死生学会、日本死の臨床研究会(代議員、編集委員、査読委員)、日本歯科衛生教育学会、埼玉県立大学保健医療福祉学会、日本看護科学学会、日本健康医学会、日本緩和医療学会				

【2024年度実績】

1. 研究業績									
(1) 著作									
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名		発行等年月	
1	YORi-SOUがんナーシング 【エビデンスで考える がん患者さんの 終末期ケア かかわりかたと症状マネジ メント】(Part 2)終末期の場面ごとの患者 さん・家族とのかかわりかた エビデン スから実践に落とし込むグリーフケア	共著	あり	メディカ出版 YORi-SOU がんナーシング14巻5号 P542-546		平野裕子、中村陽一編		2024.10	
(2) 論文									
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名		発表等年月	
	該当なし								
(3) 学会発表									
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市			発表者（発表者は○印）		発表等年月	
1	歯科衛生学生における死の不安に関する 調査 日本歯科衛生学会雑誌(1884- 5193) 19巻1号 Page108(2024.08)	共同	日本歯科衛生学会 第19回 学術大会、新潟市			○新井 恵, 平野 裕子, 秋山 恭子		2024.9	
2	Difficulty Felt Toward Patients in the Gear-Changing Phase by Young Nurses Working in Wards	共同	EFONS2025 Seoul			○YUKO HIRANO, HARUKA HINO		2025.2	
(4) その他									
	名称	単・共	発表場所等			発表者（発表者は○印）		発表等年月	
1	該当なし								
2. 競争的資金等の研究									
	競争的資金等の名称	研究名			研究代表者・研究分担者の別		研究期間		
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費 補助金（基盤研究C）	患者の死に曝され続ける中堅看護 師の看取り力深化を目指した態度 教育プログラムの開発			研究代表者		2021.4-2025.3		
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費 補助金（基盤研究C）	介護老人福祉施設における介護職 員への喀痰吸引に関する技術支援 プログラムの開発			研究分担者		2021.4-2025.3		

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	がん看護	○	8	最新の動向を踏まえがん当事者講義や若年乳がん患者事例を用いてイメージ化を図りながら看護を考えられるよう工夫した。
2	成人看護学Ⅲ		1	変形性膝関節症の看護について動画をを用いてイメージ化を図りながら講義した。
3	成人看護学Ⅳ		2	近年の災害事例を基に災害急性期の特徴や被災者への援助について講義した。トリアージは一部参加型となるよう事例を用いて工夫した。
4	口腔機能管理論		2	ACPのグループワークを踏まえ、歯科衛生士として死にゆく患者への理解、ケア方法など事例を用いた学びとなるよう工夫した。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	成人看護学Ⅲ		4	術後のドレーン管理、下肢静脈血栓症予防ケアについてイメージ化を図りながら演習を行った。
2	成人看護学Ⅳ		4	災害発生時の看護ケアの一貫として三角巾を用いた応急処置方法を事例をもとに学生とともに検討しながら理解を深めた。
3	成人看護学Ⅴ		5	看護過程（慢性心不全の急性増悪事例）において17名の学生を担当し、チューターとして理解促進に努めた。
4	臨床実践看護		8	事例に基づく看護援助の一環として、輸液管理（薬液混注、静脈注射、滴下管理など）、多重課題演習を担当した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	成人看護学実習Ⅰ		2024.5-6	手術室およびHCUの見学実習引率をした。また、見学の学びを踏まえ、急性期病院における周術期やクリティカルケアを行う看護師の役割などへの理解が得られるよう支援した。
2	成人看護学実習Ⅱ		2024.5-6	3年次生11名を対象に病棟実習を担当し、疾患を持つ入院中の患者の療養支援をするための看護について指導を行った。
3	総合実習		2024.7	4年次5名の学習課題を踏まえた学習支援のほか、看護の専門性や役割をより学べるよう認定看護師の活動や見学実習の調整などを行った。
4	IPW実習	○	2024.8-10	科目責任者会のメンバー（教員施設担当）として施設FT研修会や教員FT意見交換会の企画と評価、西部地域担当教員を担った。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2024.4-12	主指導	3名 副指導 名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	オープンカレッジ講座	埼玉県立大学	認知症高齢者の介護に活かすハンドケア	2024.6
2	オープンカレッジ講座	埼玉県立大学	認知症高齢者の介護に活かすハンドケア	2024.10
3	看護研究講義	川口市立医療センター	看護研究の基本	2024.10-11
4	看護研究指導	川口市立医療センター	看護師を対象とした看護研究指導と発表会総評	2024.3-2025.2

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等			
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	日本死の臨床研究会	編集委員	2024.4-2025.3
2	日本死の臨床研究会	代議員	2024.4-2025.3
3	日本死の臨床研究会	査読委員	2024.4-2025.3
4	第47回日本死の臨床研究会年次大会	査読委員	2024.4-2024.7
5	第47回日本死の臨床研究会年次大会	ポスターセッション座長	2024.11
6	第49回日本死の臨床研究会年次大会	実行委員	2025.1-2026.11
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
(4) その他			
	項目	相手方等	内容 期間
1	地域貢献活動	山梨県立大学池田キャンパス開催	死に近く患者を看取る看護師支援プログラム 死に近く患者を看取る看護師に必要な態度とは（科研費助成研修会） 2025.3
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	学生支援	進路相談、卒業生の就職継続、再就職相談、国家試験支援	2024.4-2025.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	入試実施部会	2024.4-2025.3
3	学科等における委員会等	IPW実習科目責任者	2024.4-2025.3
4	大学広報活動	オープンキャンパス 看護学科企画運営	2024.6-8
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		